

北秋田市農業委員会が新体制に
～任期満了に伴い委員が改選～

平成23年7月19日の任期満了に伴い、農業委員会では公選の委員30人と、関係団体からの推薦された委員8人、計38人の委員改選が行われました。委員の任期は平成23年7月20日から平成26年7月19日までの3年間です。

任期満了（7月19日）に伴う北秋田市農業員会委員一般選挙が7月3日に告示され、立候補の届出が5選挙区とも定数どおりとなったことから無投票となりました。

市選挙管理委員会では、7月10日に選挙会を開き、立候補者全員を当選者と決定し、翌11日に当選証書附与式を行いました。

第一選挙区 (鷹巣地区)	長崎 成人	太田 兵一	三沢 定幸	三沢 博隆	熊田 進	佐藤 茂延	齊藤富美雄	成田 光弘	近藤 利紀
第二選挙区 (鷹巣地区)	畠山 正敏								

定数4	長岐 亮仁	布田 久人
第三選挙区 (合川地区)	三浦 剛	小野 安則
定数8	佐藤 稔	後藤 久美
	杉渕 渉	藤岡 茂憲
	加藤 隆悦	佐藤 篤史

第四選挙区 (森吉地区)	定数6	松浦 義春	柴田喜代志	柏木 勲	佐藤 哲也	木村 正彦	春日 祥光
第五選挙区 (阿仁地区)	定数4	佐藤 弘二	柴田 英一	嘉成 久雄	湊 広		



改選後、初となる農業委員会が市長の招集により、7月20日に市役所で開催されました。

委員会には改選された38人の委員全員が参加し、始めに津谷市長は「農業委員会は農地等の利用関係の調整など、農業全般に渡る問題を農業者の代表として公正に審査や建議する立場にあります。北秋田市におきましては、経営者の高齢化が進む一方、新規の就農者は少なく、広大な農地を有効利用することが困難な状況にあります。農地情報の収集や優良農地の保全、農地の有効活用 の促進を図る農業委員の役割はより一層、重要なものとなっております。農家の代表であります皆様におかれましては、市の農業の発展のためにお力添えをお願いします」などとあいさつしました。

続いて、市長が臨時の議長として春日正一委員を指名し、議事に入りました。始めに会長と職務代理者の互選があり、会長に後藤久美氏（北秋田市下杉）、職務代理者に成田光弘氏（北秋田市鷹巣）が選任されました。その後、委員は3つの小委員会（総務・農政・農地）にそれぞれ分かれ、小委員会委員長の決定や、一年間の主な行事、事業などについて話し合いました。



▲ 会長に選任された後藤氏



▲ 会長に選任された後藤氏

見頃を迎えたあじさいと
イベントを楽しむ

第19回

合川あじさいまつり
翠雲公園

第19回合川あじさいまつり（合川あじさいまつり実行委員会主催）が7月17日、合川三木田地区の翠雲（すいうん）公園で開催され、市内外から訪れた家族連れらが、見頃を迎えた色鮮やかなあじさいと、歌謡ショーやゲームなどのイベントを楽しみました。

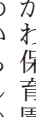
植栽数と美しさを誇るのが翠雲公園。今日一日あじさいの花を十分ご堪能いただければと思います。東日本大震災によりイベントの自粛を検討されたようですが、被災地に向けたエール、元気を発信していただきたい」などと祝辞を述べました。

翠雲公園は昭和63年から整備が進められ、現在では約11ヘクタールの敷地に9種類約2500株のあじさいが植栽されており、県内でも大きなあじさいの公園で今が見ごろとなっています。まつりは今年で19回目を迎え、今年からは、7月の第3日曜日をあじさいまつりの日に設定しました。

会場では、秋田大学奇術研究会によるマジックショー、梅丸たまこさんの歌謡ショー、あじさい国王を決める「サイコロゲーム」などが行われ、大いに盛り上がりました。スペシャルイベントでは、秋田県指定無形民俗文化財の八郎潟町「願人踊」が披露され、踊りや寸劇に会場からは大きな拍手が送られていました。

開会セレモノでは、三浦一英実行委員長が開催に参加協力をしていただいた方々に感謝しながら「あじさいは北秋田市の花として広く市民に愛されています。今年は天候の影響で8部咲き程度ですが、この祭りのあとも長い間咲き続けてくれると思います。今日

また、あいかわ保育園児による野点も行われ、かわいらしい園児によるお手前が披露されるなど、たくさんの方々で賑わいました。



▲見頃を迎えた翠雲公園のあじさい



▲70mの流しそーめん



▲八郎潟町の「願人踊」



▲あじさい国王を決めるサイコロゲーム